

カーブポート600形（一般地域用） 取付け説明書

●この説明書は施工完了後、施主様へお渡しください。

■施工される方へのお願い

⚠ 警 告

■設置条件

- 建物側の屋根からの落雪による破損防止のため、落雪が製品に直接当たらない場所に取り付けてください。
- 風の強い場所及び、積雪の多い場所では補強のため、補助柱（別売り品）を取り付けてください。
- サイドスクリーン取付け時には、補助柱（別売り品）を取り付けてください。

■部材の固定

- タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。（4mmのねじに対し3.5mm、5mmのねじに対し4.5mmのドリルをあけてください）
- 組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、施工終了後、ねじ・ボルトに緩みがないか再点検してください。

■施工時の足場について

- 取付け時は、製品の屋根にはのらないでください。

⚠ 注 意

■設置条件

- 本製品は一般地域用です。積雪の多い地域には取り付けないでください。
一般地域用600形…積雪20cm以下の地域
崖の側など、風が吹き上げる場所には設置しないでください。製品が破損するおそれがあります。

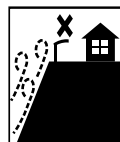
■基礎について

- 基礎の大きさは、指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
- コンクリート（またはモルタル）には海砂や急結剤は絶対に使用しないでください。使用しますとアルミが腐食するおそれがあります。
- 柱基礎には必ずわり石を敷き、柱内の水抜きができるようにしてください。また柱と基礎の付根のところに水抜き穴（φ8位）をあけておいてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないようご注意ください。

■絶縁処理について

- アルミ材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。

■屋根パネルについて



■施主様へのお願い

⚠ 警 告

- 電灯線などの電線をフレームに巻きつけないでください。漏電するおそれがあります。
- 積雪時には、危険ですので下記積雪量を超えるまに雪下ろしをしてください。
一般地域用600形…積雪20cm以下
※雪下ろしなどで屋根にのらないでください。

お手入れ・問い合わせ先について

【建物の立地条件と清掃回数】

- 腐食の防止には定期清掃が一番です。簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1～2回程度水洗いし、空ぶきするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい工業地帯、海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増やしてください。
- アルミニウム表面の保護膜に傷を付けますと、腐食を早めます。清掃には布やスポンジなどの柔らかいものをご使用ください。金属製ブラシや金ペラは絶対に使用しないでください。
- 洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のものはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。
軽い場合……水で濡らした雑巾でふきます。
ひどい場合…中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後、洗剤が残らないように水洗いし、空ぶきします。
著しく腐食しサビがでた場合…中性洗剤を付けたナイロンたわし又は、目の細かい紙ヤスリで部分的に軽くこすり、汚れやサビを取り除きます。その後、水洗いし、乾燥させた後、塗料のはげた部分にタッチアップ塗料やスプレー塗料で塗装してください。
- ※タッチアップ塗料やスプレー塗料は、色調の近い車用の補修塗料を使ってください。
- 屋根パネルの取換え…古くなった屋根パネルは早めに取り替えてください。強風その他の衝撃を受け、破損のおそれがあります。屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- 屋根パネルの耐用年数は、アクリル製とポリカーボネート製では多少異なりますが、屋根パネルの端部や固定穴の周辺に亀裂が生ずる等老化してきた場合はただちに交換してください。
※殺虫剤や農薬をアクリルパネルの近くに散布すると、パネルに亀裂を生じるおそれがありますのでご注意ください。
- 屋根パネルの取換え時に使用する部品やその他の部品が必要な場合、または製品についてのお問い合わせは、最

交換・修理について

通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分にご注意ください。

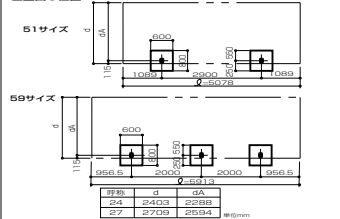
- 当社が表示した「■施工される方へのお願い」及び、「■施主様へのお願い」を守っていなかった場合。
- 当社が表示した以上の性能を必要とする用途や箇所（地域）に製品を設置した場合
- 工事上の欠点があった場合
- 製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合
- 風・雪による落下や飛来による損傷
- 製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食
- 不可抗力（天災、地変、異常気象（風、雪、水害など）地盤沈下、火災、騒乱など）による場合
- 本製品は、一般地域用です。一般地域用600形…積載荷重600N/m²（61.2kgf/m²）
カーブポートは、JIS規格同等品です。強度・耐久性などの品質についてはJIS製品と変わりありません。

1 基礎の施工

1 基礎の施工

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

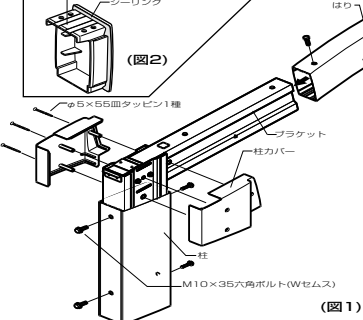
■墨出し位置



■ 2 柱とはりの取付け(図1参照)

- 柱にブラケット・アンカー棒をそれぞれ取り付け、柱を建て込みます。
 - はりブラケットに取り付けます。その後、柱カバー・はり端部キャップをそれぞれ取り付けます。
- ※はり端部キャップを取り付け高部は、シーリング材を充てんしてください。(図2参照)
- ※はり端部キャップ・はりを、前栓を取り付けた後では取り付けられませんが、必要、前栓付タイプを取り付けてください。
- ※「使用上の注意」ラベルの裏面に「柱」に該当し「セット」を取付けますと、表示が見えなくなります。縦どいセットの取付けがない面に「表示ラベルを向けてください。」

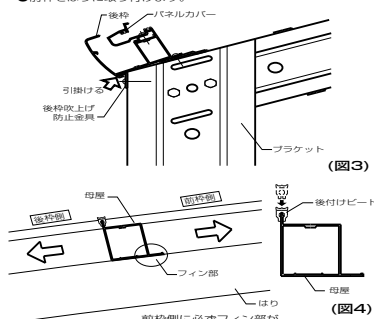
●はり端部キャップのシーリング個所
「はり端部キャップ」



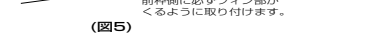
(圖 1)

3 前枠・母屋・後枠・パネルカバーの取付け

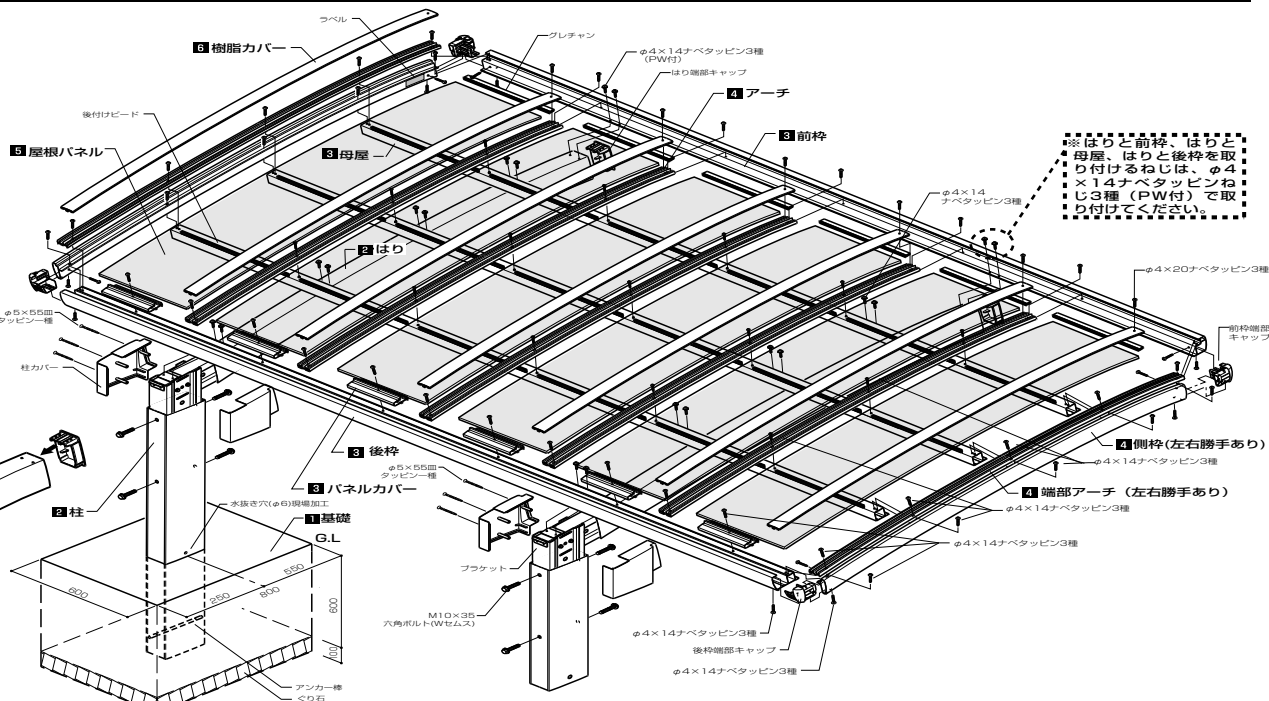
- パネルカバーを後枠に取り付けます。
- 後枠吹上防止金具に後枠を引掛けた後、後枠をブラケットに取り付けます。(図3参照)
- 母屋のフィン部に後付けビードをはめ込みます。(図4参照)
- 母屋をはりに取り付けます。
- ※前枠側にフィン部が向くように取り付けます。(図5参照)
- 前枠をはりに取り付けます。



(图3)



(図5)



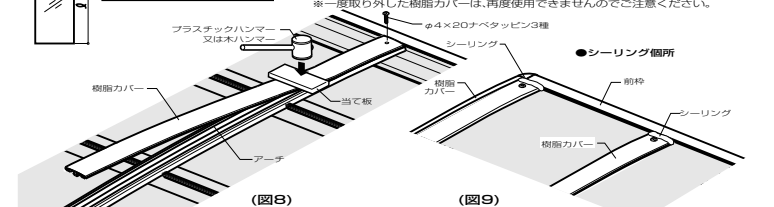
4 側枠・端部アーチ・アーチの取付け

- 前側に前・後端部キャップを取り付けます。
- ※あらかじめ、前・後端部キャップにシーリング材を充て込んでおいてください。(図6参照)
- ※前側に、左右があります。
- ラベルがある方を、前側にしてください。
- 前・後側に母屋に、側板を取り付けます。その後、端部アーチを側板の上から取り付けます。
- ※端部アーチには左右があります。(図7参照)
- アーチを取り付けます。
- ※アーチには前後の区別がありますので、ご注意ください。
- 前・後側板の取付方向が前側側になり、
- 屋根板まわりの対角、水平出し及び柱の垂直出しを行ってください。

5 屋根パネルの取付け

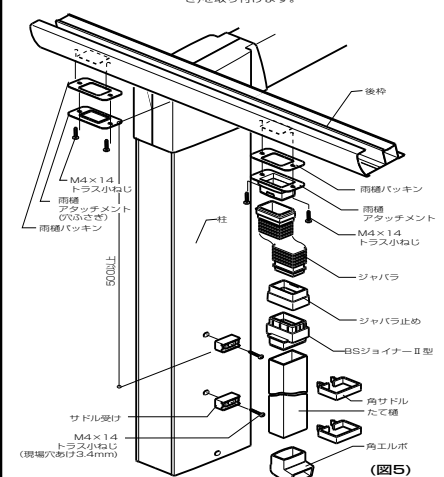
- 屋根パネルの端部にグレチャンを取付け水平に前枠に差し込みます。
●屋根パネルをパネルカバーの透き間に差し込みます。
- ※アーチ部のみのみ込み寸法は、左右均等にしてください。(のみ込み代12mm)

呼称	単位mm
24	2435
27	2740



7 縦樋セットの取付け(図10参照)

- 後枠の両端に水抜き穴加工がしてあります。
片方に縦樋セットを取り付けます。
- もう一方の穴は、雨樋アタッチメント(穴ふさぎ)を取り付けます。



(圖5)

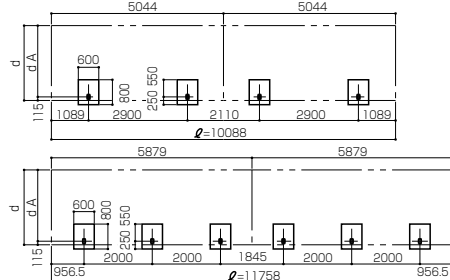
(図8)

■縦連棟の施工手順

1 基礎の施工

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

●墨出し位置



呼称	d	dA
24	2403	2288
27	2709	2594

2 本体の組立て

- 組立て前に、前枠、母屋、後枠の連棟側を現場加工してください。(図9参照)
- 連棟部分を組み立てます。(図10参照)
※連棟部分にシーリング材を充てんし、連棟スリーブ、前枠、母屋、後枠をそれぞれ接続します。(図11参照)
※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

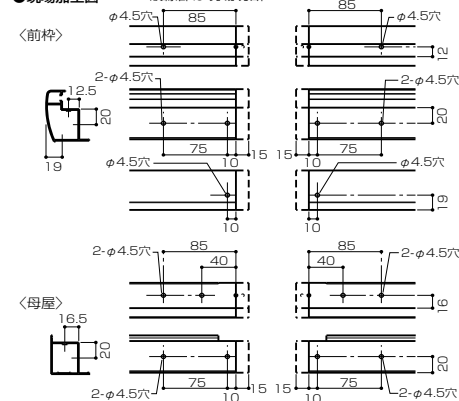
3 M合掌・Y合掌の縦連棟

- 組立て前に、棟木及び棟木カバーの連棟側を現場加工してください。(図12参照)
- 合掌棟木の接続部分にシーリングをしてください。(図13参照)

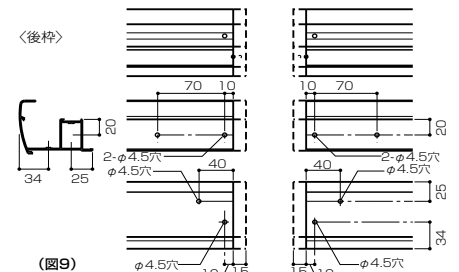
●現場加工図

※破線部は現場切断

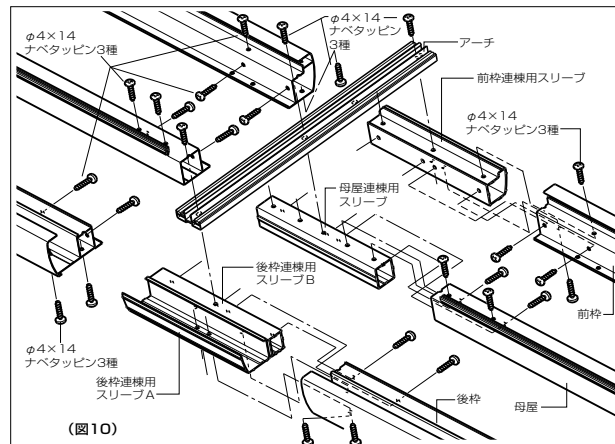
〈前枠〉



〈後枠〉

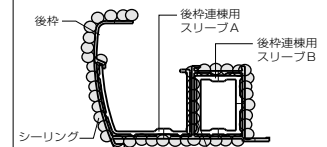


(図9)

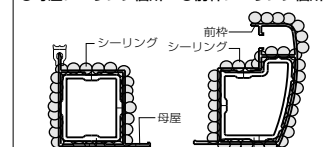


(図10)

●後枠シーリング箇所

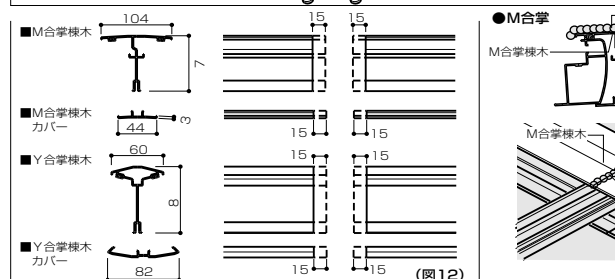
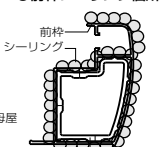


●母屋シーリング箇所

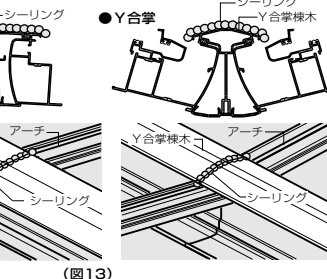


(図11)

●前枠シーリング箇所

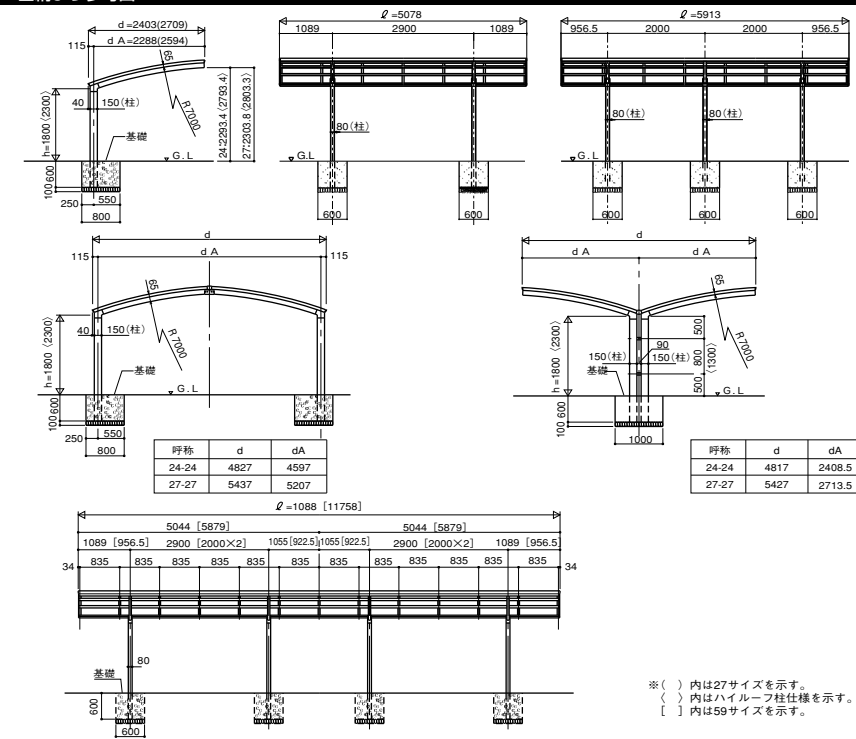


(図12)



(図13)

■納まり参考図



※ () 内は27サイズを示す。
() 内はハイルーフ柱仕様を示す。
[] 内は59サイズを示す。

